

5 沿革

昭和28年 6月 1日	中野区立桃園小学校に特殊学級として開級
36年 4月	機能訓練室を設置
56年 4月	学級名が「ひまわり学級」となる
平成 5年11月 2日	開級40周年記念式典
15年11月29日	開級50周年記念式典
25年12月20日	開級60周年記念式典
31年 4月 1日	中野区立桃園小学校と中野区立向台小学校の統合新校である中野区立中野第一小学校の特別支援学級として設置
令和 3年 4月 1日	新校舎に移設

6 主な学校行事・学級行事

月	学校行事	学級行事
4	始業式 入学式 離任式 1年生を迎える会 区学力調査 交通安全教室 集団下校訓練 消防写生会(2)	
5	引き取り訓練 自転車安全教室 歩行安全教室 社会科見学(3)(6)	歩行・体験学習
6	体カテスト 音楽鑑賞教室(5) オープンキャンパス(6) 生活科見学(2) 租税教室(6) こころの劇場(6) 車いすラグビー観戦(4)	特別支援学級3校交流会 (第二中・みなみの小)
7	移動教室(5) 移動教室(6) SOSの出し方学習 セーフティ教室 情報モラル学習 個人面談	
8		
9	社会科見学(5) 防災体験学習 オープンキャンパス(6) プラネタリウム学習(4)	高尾宿泊学習
10	前期終業式 後期始業式 運動会 連携運動会(6) 生活科見学(1)	区特別支援学級連合運動会
11	道徳授業地区公開講座	歩行・体験学習
12	学芸会 社会科見学(4)	区連合プラネタリウム学習
1	薬物乱用防止教室(6) 書初め展	
2	TGG体験学習(4) English Week 新一年生保護者会	プラネタリウム学習
3	6年生を送る会 卒業式 修了式	

● 校名「中野第一」の由来 ●

- ・「一」は、すべての始まりです。桃園小学校と向台小学校の統合新校である中野第一小学校がここから始まり、歴史を積み重ねていってほしいという願いを込めています。
- ・「一」には、物事を一つにする・まとめるという意味があります。二つの学校を支える地域が一つになり、力を合わせてほしいという願いを込めています。
- ・「一」に、オンリーワン・ナンバーワンに成長してほしい、子供たち一人一人が中野から世界に羽ばたき活躍してほしいという思いを込めています。



● 中野第一小学校の校章 ●

校章の周囲の矢羽根の組み合わせは進む道を示し、子供たちがたゆまず高い目標に向かって努力し続けるという願いを表しています。

校章の中央部の丸い形は地球を表しています。草の葉は正しい心の象徴として描かれています。

学校名を示す「第一」の二文字が草の葉によって丸く囲まれることによって、地球の人々全員が協力し合って生きていく世界を目指していくという想いを込めています。

校歌「未来はるかに」

作詞 松井五郎 作曲 沢田完

見上げた空に この手伸ばして どんな夢を つかもうか
一緒に歩もう 前向いて 朝はかならずやってくる
ここから はじまる はるかな道がある
ここから はじまる 未来 はるかに どこまでも

誰かのために できる力で いつか夢を 叶えたい
一緒に作る 思い出は ずっと心の たからもの
ここから はじまる はるかな道を行く
ここから はじまる 未来 はるかに どこまでも

いろんな風が 吹いている街 いつも夢が あふれてる
一緒につなぐ ときめきは きっと世界を変えるだろう
ここから はじまる はるかな道がある
ここから はじまる 未来 はるかに どこまでも
中野第一小学校

特別支援学級の入級については、下記に御相談ください。

教育委員会事務局 学務課 特別支援教育係
電話 03-5937-3219



中野区立中野第一小学校

開級70周年

ひまわり学級 (特別支援学級)

令和5年度 学級要覧

School Handbook



中野区立中野第一小学校
Nakanodaiichi Elementary School

〒164-0012 東京都中野区本町 3-16-1

電話番号 03-3372-2326 (学校代表)

03-3373-8800 (学級専用)

ファックス 03-3372-2327

ホームページ <http://nk-nakanodaiichi-e.la.coocan.jp>



1 教育目標

(1) 学校の教育目標

心身ともに健康で知性と感性に富み、自分も人も大切にできる豊かな人間性を持ち、時代と社会の変化に主体的に対応してたくましく生き、社会に貢献できる児童を地域・保護者と連携して育てる。

- 考える子
- 思いやりのある子
- 元気な子

(2) 目指す学校像

児童に 保護者に 地域に 教職員に

喜びを生み出す学校

子供を中心として学校・家庭・地域がつながり
それぞれのもてる力を発揮し、
地域そのものが一つの学校として教育に当たり、
愛され誇りにされ喜びを生み出す学校をつくり、
児童のよりよい成長を促す適切な支援を充実させた教育を実現する。

わたしっていいね!
I'm OK!

あなたもいいね!
You are OK!

(3) 特別支援学級の教育目標

- 自立のために、生活に必要な知識と技能を身に付ける。
- 明るく、思いやりのある心と、社会の一員としての自覚を育てる。
- 健康で、たくましい体と、最後までやりとげる力を培う。

(4) 学校、学級の教育目標を達成するための基本方針（抜粋）

ア 「中野区子どもの権利に関する条例」の考え方を生かし、学校の教育活動全体を通して、児童一人ひとりの障害の程度や特性を的確に把握し、固定の特別支援学級として求められる教育内容と、発達段階に応じた指導・支援を行い、自立への基礎となる力を伸ばす。

イ 学校生活支援シート及び個別指導計画を作成し、学習活動全般にわたり個別の課題と評価の観点を明確にし、指導の形態や方法に工夫を加え、学級集団の中で一人ひとりの能力や適性を伸ばす。

ウ 「日常生活の指導」を中心に、発達段階に応じて生活の基礎となる認識力を育てる。また、児童の主体的な活動を促し、活動の場を広げることで、自身の力で行えた達成感や成就感を育むとともに、自己肯定感を高める。

エ 「特別の教科道徳」においては、教育活動全体を通じて行う道徳教育と、その要である道徳科の連携を深めるとともに、道徳授業の充実に努める。

オ 発達段階等、児童の実態に応じた通常の学級との交流及び共同学習を推進する。

カ 校内をはじめ、保護者や地域に対し「開かれた学級」であり、特別支援教育推進の拠点である特色を生かして、その理解と啓発に努める。

キ 保護者会、家庭訪問、個人面談、日々の連絡帳等により保護者との関わりを密にし、本学級の教育への理解と協力を得るとともに、学校教育と家庭での支援の在り方の共通理解を深め、連携した指導、教育に努める。

(5) 特色ある教育活動（抜粋）

・児童の当該学年における通常の学級に所属を定め、運動会、校外学習、夏季休業中の水泳指導、移動教室等の行事や特別活動等、児童の実態に合わせ交流及び共同学習を実施する。更に所属学級との給食の相互交流を校内年間計画に基づき行うなど、日常的な交流の場を増やしていく。

・校外学習を行う中で、地域の人材・教材等との関わりの場を生かし、地域に親しみ、開かれた学級をめざす。

・学級児童の異学年ペア・生活班活動を通して、相手を思いやる心や自立への意欲を育む。異学年交流の縦割り班活動でも、ペアを生かして通常の学級・異学年との積極的な交流を図る。

・週時程は、児童が見通しをもち取り組めるよう学習活動の配列を工夫する。体育学習により生活のリズムを整え、体力の向上、健康の保持や増進を図り、生きる力の基盤を育む。

・学習内容や目標に応じて学年別や発達段階別のグループ編成を行い、指導の充実に努める。

・体育の授業や体力向上に向けた取り組みを通して、スポーツの楽しさや大切さを学ぶと共に、健康で夢に向かって努力する姿を育てる。

2 学習

特別支援学校（知的障害）小学部の学習指導要領を基準として教育課程を編成しています。

(1) 学習内容の概要

① 教科等

国語	日常生活に必要な文字や文章などの学習 図書室での読書学習
算数	日常生活に必要な計算や金銭などの学習
音楽	リトミック、歌、楽器演奏などの学習
図画工作	絵や工作などを中心とした学習
体育	マラソン、球技、水泳などを通しての体力づくり
生活単元	日課を振り返り、連絡帳に書くなどの学習 体験的な学習や行事にかかわる学習 買い物・調理学習、刺繍、栽培、英語活動など
道徳	人のかかわりを中心とした学習
総合的な学習 (ひまわりタイム)	行事の準備・練習、文集作り、調べ学習、パソコンなど

② 校外学習

ア 歩行・体験学習

登山や近隣への歩行を行う学習。交通機関の利用、安全への意識と技能を身に付ける。

イ 宿泊体験学習

一人一人の能力を生かした自主的自立的な集団生活を送る。様々な体験により児童の社会性を育てる。

(2) 生活時程

登校 8:10~8:25	月	火	水	木	金
8:25~8:45	準備 着替え 朝の会 集会 など				
1校時 8:45~9:30	体育	体育	音楽	体育	体育
2校時 9:35~10:20	音楽	学級活動	生活単元	国語 (図書)	道徳
3校時 10:45~11:30	算数	国語	図工	算数	生活単元
4校時 11:35~12:20	国語	算数	図工	国語	生活単元
12:20~13:30	給食 清掃 休み時間				
5校時 13:30~14:15	日常生活 の指導	日常生活 の指導	国語	日常生活 の指導	算数
6校時 14:20~15:05	委員会 (14:30~15:15) クラブ (14:30~15:30)	生活単元 (2~3年) ひまわりタイム (4~6年)		国語 (3~6年)	ひまわり タイム (3~6年)

委員会は5,6年生、クラブは4,5,6年生です。

3 在籍児童数

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
男子	2	0	4	3	2	2	12
女子	0	0	1	0	1	0	3
計	2	0	5	3	3	2	15

【本特別支援学級の対象児童】

知的障害のある児童で以下のような児童

- ・おおむね身の処置が一人でできる
- ・一人で通学できる、または指導等により一人で通学ができる



4 教職員（特別支援学級）

校長	戸崎 晃
副校長	原田 哲
1組担任	〇〇（主任教諭）
2組担任	〇〇（教諭） 〇〇（教諭）
講師	〇〇
支援員	3人

